

## 道産木材安定供給に関する意見交換会 開催概要

日時 令和6年(2024年)11月5日(火)14時30分~15時50分  
場所 釧路プリンスホテル 3階 北斗の間(対面)  
出席者 54名  
次第 道産木材の安定供給に向けた地域課題や今後の対応方向について  
内容

- ア 北海道水産林務部林務局林業木材課から資料説明
- イ 出席者からの主な発言内容は次のとおり

### <森林資源>

- ・森林資源の適切な管理のために、誰が、どのように取り組んでいくのか示してほしい。  
→(道回答)森林資源の管理は、地域森林計画、市町村森林整備計画などの計画制度に基づき実施していく。森林計画制度の中で伐採量など森林資源のモニタリングを行い、アラートを発出するなどの仕組みをつくり対応していくことを検討。

### <原木調達>

- ・今後の道産木材供給量見通しについて、R5見通しの420万m<sup>3</sup>を基準としているが、R5とR6は製材需要が落ち込んでいるので、直近のピークであるH30の463万m<sup>3</sup>を基準にした方が良いのではないか。  
→(道回答)製材需要の回復は厳しい見通しという業界の声を受け、直近年のR5を基準としたところ。いずれにしても、伐採量を増やさなければ、既存需要と新工場とで、原木の取り合いが生じる可能性があるとの認識。
- ・新工場からの説明では、トドマツ中心に集荷するとの話だが、将来的にカラマツも使うのではないか。  
→(道回答)スナダヤからは、トドマツ主体に集荷すると聞いている。カラマツを受け入れることを否定はしていないが、既存工場とのバッティングは避けたい意向。アカエゾマツも試してみたいと聞いている。
- ・トドマツの主伐実績が少ない要因は何か。また、主伐量を増やしていくには、どのような施策が必要か。  
→(道回答)トドマツの主伐量が少ないのは、間伐主体の施業となっているため。主伐を増やすには、再植林のための担い手確保が必要。
- ・新工場は全道から集荷するとのことだが、経済性の観点から、釧路近隣からの集荷が集中するのではないか。そうなった場合、道として伐採を制限する予定はあるのか。  
→(道回答)個別企業の原木調達について、制限をかけるのは難しい。例えば、地域別に伐採量をモニタリングしながら、アラートを発出するなどの仕組みをつくり対応していくことを検討。

### <担い手対策>

- ・国有林、道有林、一般民有林それぞれの計画制度がある中で、今後、供給量を増やしていくためには、個別ではなく、一体となって考える必要がある。
- ・造林の作業員を確保し続けるためには、国有林、道有林、一般民有林それぞれの長期的な事業計画を公表していただきたい。
- ・主伐が増加すれば、苗木の確保など造林計画もタイトになる。造林の担い手確保と植栽の機械化を進めないといけない。
  - （道回答）各地域で、国、道、民有林の関係者で対応について議論していくのが良いと考えている。植栽の機械化は、まだ試行段階であり、今後の実証を含めて加速化していく必要がある。
- ・釧路地域では、数年以内に他業種を含め 500 人近くの雇用が必要になる。林業・木材産業での外国人材の活用も含めて、道が雇用対策に取り組む必要があるのではないか。
- ・最も懸念しているのは担い手、特に造林。新会社には地元企業と一緒にあって取り組んでほしい。
  - （道回答）新工場の従業員数は、稼働 3 年目に 80~90 名。釧路で人材需要が増える中、林業・木材産業の担い手対策は喫緊の課題。外国人材の活用を含め検討していきたい。

### <地元との協議>

- ・トドマツ以外の樹種も使うのか、木材流通商社からどの程度供給されるのかが分からないと既存業界にどのような影響があるのか見通せない。新会社設立後には、速やかな情報提供をお願いしたい。
  - （道回答）現在、スナダヤと木材流通商社との間で、既存工場に影響を与えない範囲で各地域からの調達を検討していると聞いている。今後も情報収集を行い、業界への情報共有に努める。
- ・釧路の林業・木材産業は、中小企業が多く、互いに助け合いながら仕事をしている。
- ・日本製紙釧路工場が 100 年続いたのは、地元とさまざまな協力をしてきた結果。新工場にもそのような関係を求めたい。計画的に地元との協議を進めてほしい。
  - （道回答）新工場の具体的な情報提供や意見交換について新工場に働きかけていきたい。
- ・新会社が設立され、出資する各社のそれぞれの役割が見えてくれば、地元業界との協議の場を、道が調整して設定いただきたい。また、協議の場には、各社の決定権を持つ人たちに参加してほしい。
  - （道回答）協議会等の設置については、どのような形で進めていくのが良いか、業界団体や地元の皆さんとともに検討・調整していきたい。協議会等の設置について要望・意見があったことは、道からも新会社に伝えたい。

### <その他>

- ・原木の供給力向上や伐採後の着実な植林など、道では具体的にどのようなことを考えているのか。
  - （道回答）これまで、現場のさらなる機械化、設備投資や労働環境改善への支援など、ご意見をいただいているが、その他にも支援が必要なことがあると考えている。具体的な内容については、業界からのご意見を踏まえて対応していく考え。